

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和4年度
学校だより No. 20
令和4年9月20日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

熱中症への対応・制服について

学校だより No.19 でお知らせいたしました通り、学校評価アンケートの自由記述では、「熱中症への対応について」のご意見が多くありました。

ご意見の一部を以下に抜粋して記載いたします。（ご意見全体は、「学校評価（前期）の結果」に掲載いたします。）

- ・登下校時のマスク非着用を徹底して指導して下さい。
- ・熱中症対策として気候に合わせて体育館での学習を考えて欲しい。
- ・運動部に所属しているが、猛暑日は活動停止するなど、学校側からの安全上の配慮が欲しい。
- ・気温が高い日が続いているので熱中症が心配です。
- ・酷暑の中での部活の活動のあり方を今一度ご検討頂きたいです。
- ・暑い中制服と体操服も着てるので熱中症になりやすいと思います。
- ・制服と体操服の重ね着は、夏場は暑いです。
- ・この異常気象なので、1年生も体操服登下校を認めていただきたいです。
- ・制服の中に体操服を着る必要はあるのでしょうか？

熱中症への対応については、時季的なことも考え、夏休み前の職員会議で、保護者の皆様からのご意見を全教職員で共有しました。

そして、特に夏季休業中の部活動については、暑さ指数をもとに、活動中止や内容の見直し等を行う基準について再確認するとともに、水分補給や休憩の確保など、熱中症対策について、適切に進められるよう考え方を共有しました。

9月に入ってから、30度を超える日が多くあったため、20日の生徒会役員選挙についても、リモートで行うことしました。また、登下校時のマスクの着脱についても、改めて話をしました。

服装については、登下校時は制服（標準服）を基本としており、体操服は、運動時や作業時に着用するものとしています。場面に応じて衣服を考えることや、その習慣を身に着けることは、「生きる力」を育むうえで重要であり、小さな社会である「学校」における取組は、意味のあるものだと考えています。

しかしご指摘の通り、近年は酷暑となる日も多く、衣服についての対策は必要です。このため、昨年度から制服のリニューアルを進めていますが、ポロシャツの採用はその一環でもあります。

ポロシャツは通気性や吸湿性の高い素材で作られており、肌着の着用等が分からない色合いを採用していますことから、暑さ対策の面からは、下に体操服を着ることは望ましくなく、重ね着は推奨していません。また、機能面では体操服以上に暑さ対策がされていると思います。このため、校内に更衣室を整えています。しかし、制服のリニューアルは段階的に進めていることから、3年生は旧制服のままとなっています。このため、3年生については体操服登校を認めることといたしました。（旧制服についても、暑さ対策の面からは、下に体操服を着ることは望ましくなく、重ね着は推奨していません。）

また登校後は、制服または体操服・ジャージで過ごすこととしていますが、清掃時には体操服に着替え、作業に合った服装とすることとしています。

第二中学校は校舎が古く、老朽化もすすんでいます。でも、校舎の中はいつもきれいで、毎日落ち着いた雰囲気がつくられています。私が昨年度着任した時の第一印象は、「校舎がきれい」ということでしたが、先日県教委や市教委の訪問があった際にも、同様の話をいただきました。

それは生徒一人一人が、いつも一生懸命に清掃に取り組んでいるからです。拭き掃除では床に膝をつけて、隅々まで丁寧に拭いています。皆がそうしています。清掃している姿から、誠実で心が豊かな子供たちだということがよくわかります。本当に素晴らしいです。作業に合った服装が、作業の内容を一層良いものになっているのだと思います。

保護者の皆様におかれましては、何卒、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。